

矢作川圏域大規模氾濫減災総合協議会

議事概要

日時：平成30年5月23日（水）16:00～17:15

場所：岡崎商工会議所 大ホール

■議題

1. 【全体】

- 1) 矢作川水防災協議会、矢作川圏域水防災協議会、
矢作川洪水予報連絡会、矢作川水防連絡会
の合同開催について
- 2) 平成29年度 気象概況 <名古屋地方気象台>
- 3) 平成29年度 出水概要 <豊橋河川事務所>

2. 【矢作川水防災協議会】<豊橋河川事務所>

- 1) 矢作川水防災協議会 規約、取組方針の改訂について
- 2) 「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく矢作川の減災に係る取組方針の
フォローアップについて

3. 【矢作川洪水予報連絡会】・【矢作川水防連絡会】<豊橋河川事務所>

- 1) 平成29年度 事業報告、平成30年度 事業計画（案）について
- 2) 連絡会規約及び役員名簿について
- 3) 重要水防箇所の変更箇所について

4. 【矢作川圏域水防災協議会】<愛知県>

- 1) 出水期前の体制確認について
- 2) 取組方針フォローアップについて
- 3) 水害対応タイムライン（案）について
- 4) その他情報提供、今後のスケジュールについて

■協議結果

本会の合同会議の名称、会議の運営要領を確認し、了承を得た。

【矢作川水防災協議会について】

規約、取組方針の改訂を確認し、了承を得た。

岡崎市より、市域を超えた広域避難の取組について説明がなされた。

豊田市より、GPS を活用した市立元城小学校の洪水避難訓練の実施について報告がなされた。

碧南市より、想定最大規模の洪水に対する洪水ハザードマップについて説明がなされた。

【矢作川洪水予報連絡会・矢作川水防連絡会について】

事業報告、今年度の事業計画案並びに規約と役員名簿の変更、あわせて、重要水防箇所の変更を説明し、了承を得た。

【矢作川圏域水防災協議会について】

出水期前の体制確認と取組方針のフォローアップについて、各構成員と情報共有を行った。

水害対応タイムライン（案）について、各構成員の了承を得て、本出水期から運用する。

■全体質疑

本会の内容を受けて、委員の方からご意見を頂いた。以下にその概要を記載する。

<岡崎市>

- ① 今回、初めて国・県が合同で協議会が開催されることにお礼申し上げる。
- ② この度、公表されることとなった「水害対応タイムライン」を今後運営していく中で、課題等が明確になった場合は、速やかに対応してほしい。
- ③ 平成 28 年度に、矢作川の想定最大規模洪水の浸水想定図が公表されたことから、広域的な避難の仕組みと検討が急務であると考えている。今後、避難勧告等の判断、伝達マニュアルの指南書を始めとして防災出前講座やハザードマップの作成、配布など出来る事から着手したいため、引き続き支援をお願いしたい。
- ④ ハード対策の促進について、現在、矢作川の洪水氾濫を未然に防ぐ対策では堤防の整備工事が岡崎市南部の東海道新幹線交差点付近まで進められているが、工事の進捗率については平成 29 年度時点で約 40%となっている。平成 32 年度までの目標区間である一級河川乙川との合流点付近までの整備は確実に進めて頂きたい。

<豊田市>

- ① 関係会議の合同開催について、とてもありがたく思う。
- ② 河川整備について、矢作ダム再生事業の新規事業着手など、着実に対策を進めて頂いているが、鵜の首狭窄部の解消などの河川整備に併せて、県管理区間についても、上下流バランスを考慮した整備をお願いする。
- ③ ソフト対策について、水害に対する市民の危機意識向上のためには洪水ハザードマ

ップ等の活用が有効である。ハザードマップ作成の促進のため、県管理河川における想定最大規模の浸水想定区域を策定する対象河川を拡充して頂きたい。

- ④ 平成 31 年度に実施される水防演習は、水防に関する意識向上という面においても非常に重要と捉えている。国・県・関係市町等で十分に情報共有を行い、役割分担を明確にしなが準備を進めていきたい。
- ⑤ 要配慮者施設の避難確保計画等の取組についても、関係機関の連携が必要であるため、引き続きの協力をお願いする。
- ⑥ いずれについても国・県のご支援を引き続きお願い申しあげたい。

<安城市>

- ① 安城市は、「逃げ遅れゼロ」に向けた取り組みを着実に進めていく必要があると考え、県のみずから守るプログラムを積極的に活用している。矢作川沿川を手始めに、平成 22 年から毎年手作りハザードマップを作成しており、昨年度までに 8 地区でマップを作成した。マップ作成後の住民参加者アンケートでは、地域の水害についての新たな発見、水害に対する意識の変化についての意見が得られた。
- ② 本年度 9 月に、矢作川の増水、越水を想定した水防訓練を実施する予定である。この沿川の自主防災組織や消防団員のほか、地域住民にもご参加いただき、情報伝達訓練、広報車巡回訓練、避難誘導訓練を行い、避難誘導訓練では、自主防災組織と消防団員が要配慮者宅を訪問し、避難補助を実施する訓練を予定している。
- ③ このような取り組みを通じ、市民が適切に判断できる能力を醸成してまいりたい。

<西尾市>

- ① 矢作古川の分派施設が完成したことに感謝申し上げる。
- ② 矢作川において、河川監視用の水位計・カメラの増設をお願いするとともに、矢作古川分派施設が完成したことにより、矢作古川の流量は広田川との合流地点までは、制限されているので、現在の矢作古川の水位計の位置の見直し等について検討してほしい。
- ③ 災害への備えは矢作川流域全体の課題でもありますので、今後も国・県並びに各自治体との連携を図りながら進めてまいりたい。

<知立市>

- ① 知立市においては直近では平成 30 年 5 月 13 日午後には洪水警報が発表され、西町逢妻川で「避難判断水位」である 4.5m を超え、一時 4.8m 以上に達した。当日は、避難所を 2 箇所開設し、避難準備・高齢者等避難開始情報を発表したが、避難勧告には至らず水位が下がったが、「出水期」を前に、このような状態になるのは大変心配で、自然環境の変化による台風や大雨の増加など懸念される中で、市民の皆さまが安心・安全に暮らす環境としては、逢妻川をはじめ、市内河川の改良や整備等を、緊急に解決し

なければならぬ課題と考え、整備を推進して頂きたい。

<高浜市>

- ① 出水期を前に、関係者が一堂に会する機会を設定いただきお礼申し上げる。
- ② 高浜市では、毎年、水防訓練を実施しており、過去の水害により浸水したエリアのある町内会を中心に参加を呼びかけているが、その数は年々減少傾向にあり、住民の意識も薄れてきていると感じている。
- ③ 本協議会の取り組み状況なども参考に、本市においても水防災に対する様々な対策に取り組んでいきたい。
- ④ 高浜市は海が近く、稗田川、高浜川に接続をしているため、高浜川のポンプをかねてから要望している。水門を閉ざした中ではなかなか水を制御出来ないため、高浜市でのポンプ場整備をお願いしたい。

以上